

 Organic Lifestyle EXPO

第2回オーガニックライフスタイルEXPO

West in 京都2025

報 告 書



— 京都から世界へ —

第2回 **オーガニック
ライフスタイルEXPO**
West in 京都2025

全国オーガニックビレッジ・連携フォーラム
Organicvillage alignment Forum2025

オーガニック3.0を推進する〜持続可能な開発目標 SDGsの実現に向けて
ローカル&オーガニック〜オーガニックは地域づくり

2025年**5月23日(金)24日(土)** 10:00~17:00
京都市勧業館 みやこめっせ 〈第2展示場〉

入場料：1,000円 ※招待状持参、事前入場登録で入場無料
主催：一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン (OFJ)

日本最大級の
オーガニックEXPO
京都から世界へ

日本の伝統とオーガニック

Member Partner
ムソ株式会社

風水プロジェクト

HELP
暮らしに安心、安全なものを

株式会社
坂ノ途中

興

hotel
kanra
kyoto

株式会社 西村機械製作所
NISHIMURA MACHINE WORKS CO.,LTD.

ハンナリシエ

2025.5.23-24
京都市勧業館みやこめっせ 第2展示会場
<https://ofj.or.jp/ole-kyoto/>

一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン

 Organic Forum Japan

開催をおえて

拝啓、残暑の候、貴社ますますご発展のこととお慶び申し上げます。

「第2回オーガニックライフスタイルEXPO WEST in 京都2025」への出展者の皆様、ご来場いただきました皆様、セミナー関連でご登壇いただきました講師の皆様、ご後援、ご協賛ご協力いただきました皆様、大変お世話になりました。沢山の皆様のお力添えを頂いて大盛況で終了する事ができました。

2016年から始まりましたオーガニックライフスタイルEXPO（東京開催）は10年間継続を目標にし、2025年10月に第10回目の開催を迎えることとなります。

また、昨年より西日本の開催拠点として京都の地で「オーガニックライフスタイルEXPO WESTin京都」を開催し、昨年より会場規模を2倍に拡大し第2回目の開催を実現できた事は皆様のお力添えがあってこそ実現できた事と心より感謝申し上げます。

手探り状態でスタートした京都開催も課題点や新たな目標も発見できた事で3回目の開催に向けて、更なる発展を目指す所存です。

また、2021年にみどり法案が成立し、全国自治体がオーガニックビレッジ宣言として、オーガニックな街づくりに各自治体が動きはじめた中、今年の京都開催でスタートしたオーガニックビレッジ連携会議では、オーガニックビレッジ推進の活性化と自治体連携を目的とし、様々な課題や解決に向けた意見交換、成功事例等を共有する企画・開催し、高評価をいただいております。

今年も西日本各地からOV地域、オーガニックを積極推進されておられる県、各農政局様にご参加いただき、様々な議論を交わすことができました。また、ご参加自治体様と「オーガニックビレッジフレンズ」と題した自治体間連携を活性化するという意思を共有する事ができました。

その他、同時開催として15本の専門セミナー・シンポジウムを実施しそれぞれ盛況で終了することができました。

私たちは皆様の役に立つオーガニックライフスタイルビジネスコンベンションの構築を目指したいと考えております。業界全体が一堂に介し「国内のオーガニックライフスタイルビジネスの推進、持続可能な開発目標の実現に向けて」「ローカル&オーガニック」をテーマに国内・西日本を代表するオーガニックライフスタイルコンベンションの構築継続を目指します。

オーガニックライフスタイルEXPOをきっかけに、皆様が益々のご発展・ご飛躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

2025年6月吉日

一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン

来場実績

第2回オーガニックライフスタイルEXPO WEST in 京都

■ 来場者数

2025年5月23日（日）晴れ／曇り 3,837名

2025年5月23日（日）曇り／雨 3,353名

合計7,190名（昨対比90.2%）

■ 出展者数

出展企業・団体・生産者 合計123社、130小間

【展示会概要】

名称 第2回オーガニックライフスタイルEXPO in京都
テーマ 「オーガニック3.0を推進する～持続可能な開発目標SDGsの実現に向けて」
会期 2025年5月23日・24日／2日間開催 10:00～17:00
入場料 1,000円（税込）※紹介状持参／事前登録者無料
会場 京都市勤業館みやこめっせ 第2展示場
主催 一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン（OFJ）
共催 日本オーガニック会議
後援 近畿農政局、岡山県、京都市、朝来市、宇陀市、尾鷲市、加東市、亀岡市、京丹後市、大府市、養父市、新庄村、和気町、上郡町、高鍋町、日本貿易振興機構（ジェトロ）京都貿易情報センター
特別協賛 ムソー株式会社、株式会社風水プロジェクト、株式会社ヘルプ、株式会社坂ノ途中、ホテルカンラ京都、株式会社西村機械製作所、合同会社ハンナリCHE

【協賛】

株式会社アファス認証センター、IFOAM JAPAN、Animal Welfare Food Community Japan、アースデイ in 京都、エシカルフードロスアライアンス、京都オーガニックアクション、学校法人恵泉女学園大学、一般社団法人SEEDS OF LIFE institute、一般社団法人 次代の農と食をつくる会、循環フェス、正食協会、一般社団法人 ソーシャルプロダクツ普及推進協会、一般財団法人 日本GAP協会、一般社団法人ナチュラルライフ＆ビューティーアソシエーション、NPO法人 日本オーガニックコットン流通機構、（特非）日本オーガニック＆ナチュラルフーズ協会（JONA）、一般社団法人 日本オーガニック検査員協会、NPO法人 日本オーガニックコットン協会、日本有機農業研究会、一般社団法人日本有機農産物協会、一般社団法人 日本サステナブル・ラベル協会、株式会社やがて、NPO法人 有機農業参入促進協議会、有機農業の日委員会、Love Eats!! KYOTO Green Project、有限会社リーファース、LOHAS WORLD PLANNING OFFICE、サクラ食品工業株式会社

【協力】

読売新聞大阪本社、日本食糧新聞社、日本農業新聞、むすび／正食協会、ORGANIC PRESS、ピオラジ～エシカルフードの舞台裏～、コープニュース、GON／グローバルオーガニックネットワーク

【同時開催】

- ・全国オーガニックビレッジ連携フォーラムWest
- ・第2回キッズアワード京都～ぼくのわたしの食べ物の絵コンテスト

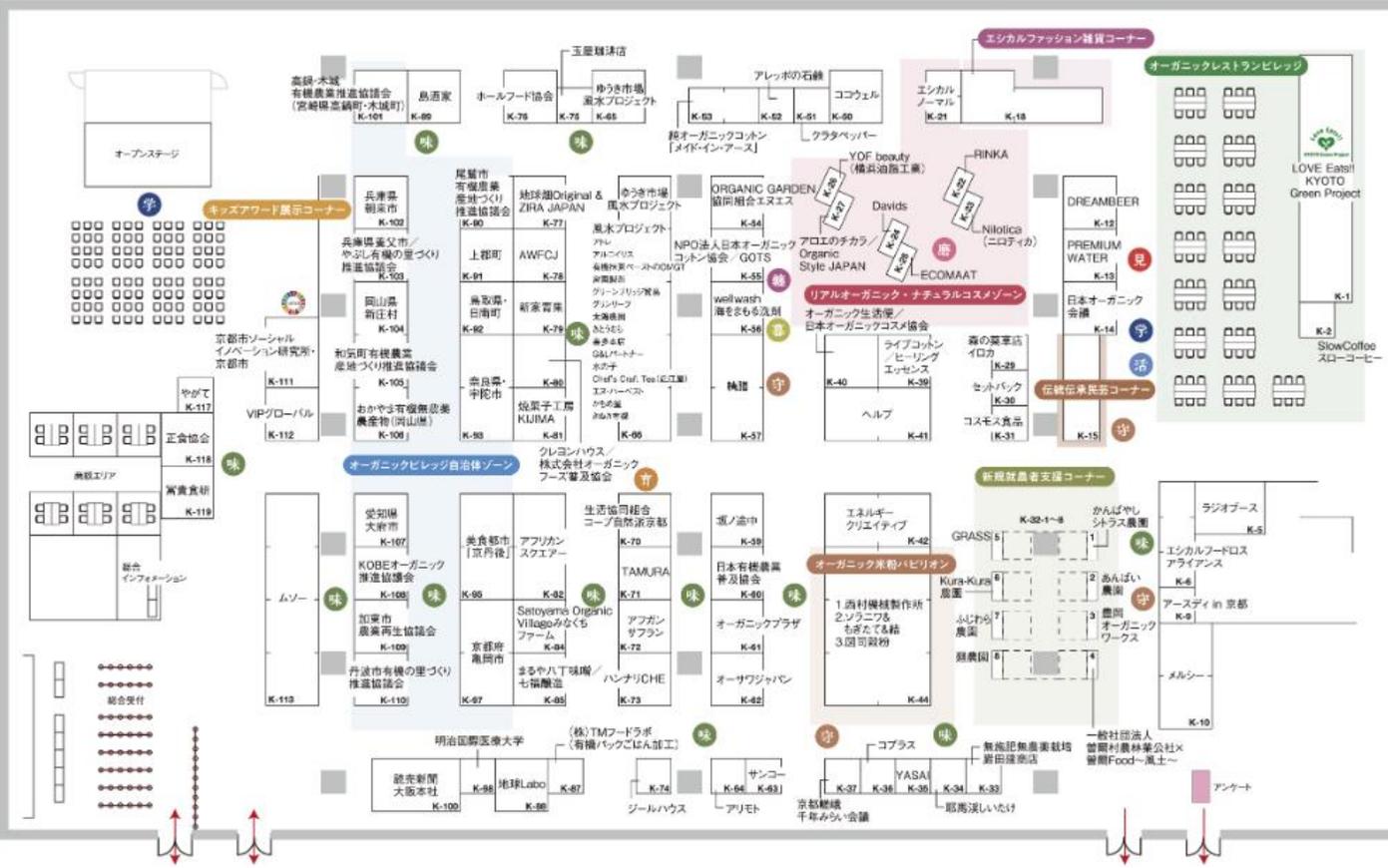
【主催者企画】

新規就農者生産者マルシェ、オーガニックレストラン ビレッジ、リアルオーガニックナチュラルコスメゾーン、エシカルファッション雑貨コーナー、米粉パビリオン、第2回オーガニックビレッジ連携会議West、各種 講演、専門セミナー他

【主催者概要】

一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン
会長：徳江倫明
代表理事：秋元一宏
理事：中村実代
理事：渡邊竜史
東京本部事務局：東京都中央区八丁堀2-22-8 内外ビル七階
関西事務局：兵庫県丹波篠山市北新町39-13 (株)やがて内
担当：黒瀬啓介
Tel: 03-3523-0028 **Fax**: 03-3523-0861
E-Mail : info@ofj.or.jp
公式ホームページ : <https://ofj.or.jp>

京都市勧業館みやこめっせ 第2展示場
約3,600㎡



- 味** 有機JAS認証有機農産物
自然栽培農産物・加工食品
輸入食品他
- 育** 農園・家庭菜園
ガーデニング・ベビーキッズ
ペット・飼育関連他
- 纏** オーガニックコットン・エシカル
ファッション・アパレル・
フェアトレード雑貨
- 磨** オーガニック・ナチュラル
ビューティケア
インナービューティケア他
- 癒** 代替医療
メディカルアロマセラピー
セルフケア・ウェルネス
- 喜** ナチュラル住宅・建材・リフォーム
掃除・洗濯用品・寝具・省エネ
アレルギー対策・クリニック
- 守** 伝統・伝承・自然・生活・技術他
- 活** 都市計画・農村活性化
& 里山保全代替エネルギー・
地産地消・グリーンツーリズム他
- 学** オーガニック&ナチュラルを
知るための講座・団体紹介
- 見** 飲食店・店舗情報や
様々な関連情報公開

migaku
磨

充実のブランドストリート リアルオーガニック・ ナチュラルコスメゾーン



ナチュラルコスメプロデューサー小松和子氏監修。国内外の魅力的なオーガニック&ナチュラルコスメブランドが一堂に会する「リアルオーガニック・ナチュラルコスメゾーン」。リアルオーガニック・ナチュラルコスメの出展基準を満たしたブランドゾーン。東京では2016年からスタートし国内最大規模の充実のコスメゾーンとして開催して参りました。京都は2024年スタートいたしました。魅力あるブランドを是非お試しください。

❖協賛：一般社団法人ナチュラルライフ&ビューティーアソシエーション



matou
纏

世界を変える サステナブルエシカル ファッション雑貨コーナー

「エシカル・ファッション」とは、直訳すると「倫理的に正しいファッション」のこと。「環境に負担をかけないオーガニック素材・自然素材・リサイクル素材などを使用していること」、「正しい労働条件と公正な賃金が守られたフェアトレードによって生産されていること」、「地域の伝統技術・製法を継承した文化的価値の高い素材や製法であること」等を意味します。世界中から厳選されたエシカルブランドの魅力を、是非、皆様の眼で、手で、直接確かめてみてください。

❖協力：LOHAS WORLD PLANNING OFFICE



mamoru
守

伝統伝承コーナー

日本の伝統的な生活文化はまさにオーガニックライフスタイルです。今回は“丹波”の伝統的な日々の暮らしを豊かにする陶器の器を中心に、昔ながらの造りにこだわった丹波のお酒・丹波茶を紹介。また、物を大事に使い続ける技法である金継ぎをヒントに、丹波焼の陶片「ガラメン」を使った金継ぎアクセサリーも展示販売。

丹波の銘酒、山名酒造の「奥丹波」から有機JAS認証の「有機奥丹波」が今春デビュー！特別に試飲をご用意いただきます。（数量限定）

【特別企画】

丹波焼「丹文窯」の作家大西氏より「ぐい呑み」を特別価格でご提供いただきましたのでぜひご覧ください！

❖協力：丹文窯 大西雅文氏、山名酒造株式会社、丹波 本家 熊野園、岩田瑞希



丹波焼「丹文窯」



丹波焼「ぐい呑み」(特別価格販売)



丹波焼金継ぎアクセサリー



有機奥丹波

ajiwau
味

未来を繋ぐ 新規就農者マルシェ

有機農業を目指し新規就農する生産者を応援するゾーン。就農者たちと直接コミュニケーションしていただき、農業への想いやビジョンに触れるとともに、彼らが手塩にかけて育てた農産物を味わってみてください。新たな農業の担い手に是非皆様の応援を！

❖協賛：株式会社坂ノ途中、株式会社風水プロジェクト





オーガニックフードコート



“オーガニックをもっとポピュラーに！”そんな想いで京都市内で活躍する飲食店とコラボしてフードコートを運営しました。オーガニックの食材をシェフ達によって様々な“美味しい”を彩っていただきました。



オーガニック米粉パビリオン



みどりの食料システム戦略・オーガニックビレッジ宣言の取り組みにおいても、各地域にて有機米の推進が増えている中、有機のお米の食べ方のバリエーションを増やすことで、様々な食のシーンで有機米の活用が可能になります。

中でも注目される“米粉”について、その美味しさを決める重要な要素に「製粉方法」にあります。（株）西村機械製作所が開発した「気流式微粉碎」で製粉した“美味しい米粉”をテーマにしたパビリオンをつくりました。

（株）西村機械製作所の「気流式微粉碎机」の技術紹介をはじめ、気流式粉碎で製粉をしてくれる製粉所や米粉食品の展示販売を実施。また、期間中、米粉に関するセミナーも開催。

- 味 [アースディ in 京都](#) 磨 [オーガニック生活便/日本オーガニックコスメ協会](#) 磨 [アレッポの石鹸](#)
 味 [合名会社アリモト](#) 味 [AWFCJ](#) 味 纏 守 [アフガンサフラン](#) 味 (有) [アフリカンスクエア](#)
 味 [エシカルフードロスアライアンス](#) 味 [オーサワジャパン株式会社](#) 味 守 [京都嵯峨千年みらい会議](#)
 纏 [ORGANIC GARDEN 協同組合エヌエス](#) 味 [株式会社きじま](#) 活 [エネルギークリエイティブ](#)
 味 [クラタベッパー](#) 味 [株式会社コスモス食品](#) 味 [株式会社コプラス](#) 纏 [株式会社ココウェル](#)
 味 [株式会社クレヨンハウス/株式会社オーガニックフーズ普及協会](#) 味 [株式会社坂ノ途中](#)
 味 [株式会社サンコー](#) 味 育 守 活 学 見 [Satoyama Organic Village みなくちファーム](#)
 味 [農業生産法人 有限会社 新家青果](#) 味 [農業生産法人株式会社島酒家](#) 味 [株式会社ジールハウス](#)
 磨 有限会社セットバック 暮 [wellwash 海をまもる洗剤](#) 味 育 [生活協同組合コープ自然派京都](#)
 守 [株式会社精膳](#) 正食協会 味 [株式会社TAMURA](#) 味 [株式会社玉屋珈琲店](#)
 味 [地球畑Original & ZIRA JAPAN](#) 育 [株式会社地球Labo](#) 味 (株) [TMフードラボ \(有機バックごはん加工\)](#)
 見 [DREAMBEER](#) 纏 [NPO法人日本オーガニックコットン協会/GOTS](#) 守 [日本有機農業普及協会](#)
 味 [合同会社ハンナリCHE](#) 磨 施 [株式会社VIPグローバル](#) 味 [株式会社富貴食研](#)
 見 [PREMIUM WATER](#) 味 [株式会社ヘルプ](#) 味 [オーガニックプラザ](#) 味 [一般社団法人ホールフード協会](#)
 味 [まるや八丁味噌/七福醸造](#) 味 [無施肥無農薬栽培 巖田建商店](#) 味 [ムソー株式会社](#)
 施 [株式会社メルシー](#) 育 纏 磨 守 学 暮 [純オーガニックコットン「メイド・イン・アース」](#)
 活 学 見 [明治国際医療大学](#) 味 活 [森の薬草店イロカ](#) 味 [耶馬溪しいたけ](#) 味 [株式会社YASAI](#)
 味 [ゆうき市場/ \(株\) 風水プロジェクト\(アトレ アルコイリス 合同会社OMGT 宮園製茶](#)
[グリーンブリッジ貿易株式会社](#) [グリーンリーフ株式会社](#) [株式会社きとうむら](#) [株式会社太陽農園](#)
[株式会社G&Lパートナー](#) [株式会社水の子](#) [株式会社喜多本店](#) [Chef's Craft Tea \(近江屋\)](#)
[株式会社エヌ・ハーベスト](#) [株式会社かもめ屋](#) [株式会社さめき有機](#))
 味 [やがて 読売新聞大阪本社](#) 施 磨 [ライブコットン/ヒーリングエッセンス](#)
[京都市ソーシャルイノベーション研究所・京都市](#)

オーガニックビレッジ自治体ゾーン

愛知県大府市 **味** おかやま有機無農薬農産物(岡山県) 上郡町 京丹後市役所 京都府亀岡市
味 **活** KOBEオーガニック推進協議会 **味** **守** **活** 新庄村 **味** 丹波市有機の里づくり推進協議会
味 鳥取県・日南町 **味** 奈良県 宇陀市 **磨** 尾鷲市有機農業産地づくり推進協議会
 兵庫県養父市/やぶし有機の里づくり推進協議会 和気町有機農業産地づくり推進協議会
 加東市農業再生協議会 **味** 兵庫県朝来市 高鍋・木城有機農業推進協議会(宮崎県高鍋町・木城町)

リアルオーガニック・ナチュラルコスメゾーン

磨 アロエのチカラ / Organic Style JAPAN **磨** ECOMAAT **磨** 株式会社エシカルノーマル
磨 Davids **磨** Nilotica (ニロティカ) **磨** RINKA **磨** YOF beauty (横浜油脂工業株式会社)

オーガニック米粉パビリオン

味 株式会社岡司穀粉 **味** ソラニワ&もぎたて&結 **味** 株式会社西村機械製作所

新規就農者応援ゾーン

味 あんばい農園 **味** かんばやしシトラス農園 **味** Kura-Kura農園 **味** GRASS
味 一般社団法人曾爾村農林業公社 × 曾爾food〜風土〜 **味** 豊岡オーガニックワークス
味 ふじわら農園 **味** 廻農園

オーガニックレストランビレッジ

味 SlowCoffee スローコーヒー **味** LOVE Eats!! KYOTO Green Project

5.23.fri

会場内オープンステージ
シアター 100名

大会議室
B1スクール 120名

第2 第3会議室
B1 スクール 48名

S-00

オープニングセレモニー
京丹後市オーガニックビレッジ宣言

S-01

10:30~11:15 ローカル&オーガニック
シンポジウム
一部 コウノトリ育む農法による
地域活性化

中貝 宗治氏
元豊岡市長/一般社団法人
豊岡アートアクション
理事長



岡田 亜理寿氏
一般社団法人アースデイ
ジャパンネットワーク
共同代表



11:15~12:00

二部 美食都市"京丹後市"の
オーガニックビレッジ推進

中山 泰氏
京丹後市長



梅本 修氏
ピオ・ラビッツ株式会社



相本 浩志氏
近畿農政局長



桑村 祐子氏
株式会社紫野和久傳
代表取締役



〈特別ゲスト〉

中貝 宗治氏
元豊岡市長/一般社団法人
豊岡アートアクション
理事長



〈司会〉

岡田 亜理寿氏
一般社団法人アースデイ
ジャパンネットワーク
共同代表



お申し込みはこちら >

S-04

合同会社ハンナリCHE presents
脱炭素による持続可能な農業生産と
農ソーラーシェアリング

馬上 丈可氏
脱炭素スマート農地研究会
スマート農機導入グループ
リーダー



お申し込みはこちら >

S-06

オーガニックマーケティングセミナー
世界のオーガニック
マーケット情報2025

三好 智子氏
国際有機農業運動連盟
(IFOAM)
元世界理事アンバサダー



お申し込みはこちら >

S-05

第2回オーガニックビレッジ
連携会議WEST京都
～森里川海のつながりから
有機農業を考える～

主催：オーガニックフォーラムジャパン/
共催：日本オーガニック会議

12:30~13:45

◆オープニングセッション
〈近畿農政局〉

井村 辰二郎氏
日本オーガニック会議
実行委員長



三好 智子氏
国際有機農業運動連盟
(IFOAM)
元世界理事アンバサダー



〈ファシリテーター〉

徳江 倫明氏
(一社) オーガニック
フォーラムジャパン 会長



小原 社太郎氏
(一社) the Organic
代表理事、
日本オーガニック会議執行部



13:50~15:10

◆オーガニックビレッジ事例報告会

「有機農業白書紹介」坂ノ途中
近畿農政局、東海農政局、
愛知県 大府市、愛知県 大府市、
大阪府 泉大津市、岡山県、
岡山県 新庄村、岡山県 和気町、
京都府 亀岡市、京都府 京丹後市、
鳥根県 浜田市、鳥取県 日南市、
兵庫県 朝来市、兵庫県 加東市、
兵庫県 丹波市、兵庫県 養父市、
宮崎県 木城町、宮崎県 高鍋町、
奈良県 宇陀市、三重県 尾鷲市、
兵庫県神戸市

S-07

国内のオーガニック農産物・
加工品の実践輸出セミナー

稲上 芳郎氏
ジェトロ大阪本部
海外ビジネス推進課



お申し込みはこちら >

5.23.fri

会場内オープンステージ
シアター 100名

第2 第3 会議室
B1 スクール 48名

大会議室
B1スクール 120名

S-02

「未来の食と農をつなぐ知と実践」
-京都の先達に聞く-

石田 紀郎氏
元・京都大学農学部教授/
NPO法人市民環境
研究所代表



秋津 元輝氏
明治国際医療大学 教授/
京都大学 名誉教授 (農学)



宗接 元信氏
株式会社ヘルプ代表取締役



〈ファシリテーター〉

廣海 縁朗氏
エシカルフードロス
アライアンス/
一般社団法人京都
オーガニックアクション/
循環フェス



S-03

サステナブルなまちづくり
実践シンポジウム
次世代に残すために
~京都から世界へ

アースデイ 京都

持田 博行氏
アースデイin京都 代表/
一般社団法人アースデイ
ジャパンネットワーク
理事



関 恵氏
株式会社 発酵食堂カモシカ
代表



小上 陽子氏
ヨガスタジオTAMISA代表、
yinyang代表



S-08

動物福祉・有機畜産の普及と
ビジネス展開のために
~「動物福祉・アニマル
ウェルフェアをめぐる
世界の動向とAWFCJの活動」

①AWFCJの活動について (20分)

矢崎 榮司氏
AWFCJ前代表

②動物福祉・アニマルウェルフェア
-世界の歩み

植木 美希氏
AWFCJ代表 日本獣医生命科
学大学名誉教授



15:15~16:30

◆オーガニックビレッジ円卓会議
(75分)

近畿農政局をはじめ各農政局、オーガニック
ビ各県、自治体 (参加受付中)、坂ノ途中、
日本オーガニック会議執行部

井村 辰二郎氏
日本オーガニック会議
実行委員長



三好 智子氏
国際有機農業運動連盟
(IFOAM)
元世界理事アンバサダー



田中 ユレナ氏
ママ♡エンジェルズ
TEAM2600万
本部バックオフィス
スーパーバイザー



黒瀬 啓介氏
株式会社やがて代表取締役
オーガニックフォーラム
ジャパン関西事務局



〈進行〉

徳江 倫明氏
(一社) オーガニック
フォーラムジャパン 会長



小原 壮太郎氏
(一社) the Organic
代表理事、
日本オーガニック会議執行部



近畿農政局、東海農政局、
大阪府 泉大津市、岡山県、
岡山県 新庄村、京都府 亀岡市、
京都府 京丹後市、島根県 浜田市、
鳥取県 日南市、兵庫県 朝来市、
兵庫県 加東市、兵庫県 丹波市、
兵庫県 養父市、宮崎県 木城町、
宮崎県 高鍋町、奈良県 宇陀市、
三重県 尾鷲市、兵庫県神戸市

京都市

橋本 勇人氏
SILK橋本コーディネーター



増永 滋生氏
株式会社アドブランツコーポ
レーション 代表取締役/
京都嵯峨千年みらい会議
副会長



田中 雅大氏
株式会社ヘルプ 商品管理部
農産部門 チーフ



渡邊 春菜氏
坂ノ途中の研究室 研究員



ファシリテーター

秋元一宏氏
オーガニックフォーラム
ジャパン代表理事



5.24.sat

会場内オープンステージ
シアター 100名

大会議室
B1スクール 120名

第2第3会議室
B1 スクール 48名

S-09

キッズアワード表彰式

S-10

有機農業の未来を拓く
～自治体・企業ができる
具体的なアクション

主催 株式会社坂ノ途中

小松 光氏
坂ノ途中の研究室
主任研究員



S-11

オーガニックビレッジトーク
～生産地と消費地をつなぐ
新たな地域共生モデル
「オガビレ・フレンズシティ」

田中 幹夫氏
南砺市長



西 経子氏
農林水産省大臣官房審議官
(技術・環境)



ファシリテーター

小原 壮太郎氏
(一社) the Organic
代表理事、
日本オーガニック会議執行部



第2第3会議室
B1 スクール 48名

S-17

これからの有機農業に必要な資材！
未利用バイオマス活用から
ミックスカバークロップまでの
最新情報

鈴木 一哉氏
エンザイム株式会社
代表取締役
・バイオマス活用
アドバイザー
・メタン発酵技術
アドバイザー
・BLOF理論公認推肥
インストラクター



S-12

これからの有機農業
～小さな農業の可能性

西田 栄喜氏
日本一小さい農家菜園生活風
来の店主



伊藤 和徳氏
和ごころ農園代表



佐藤 文博氏
廻農園、廻農園カフェ



井村 辰二郎氏
(株) 金沢大地 代表取締役



橋本 領司氏
NPO 法人西日本
アグロエコロジー協会代表
橋本有機農園代表



ファシリテーター

徳江 倫明氏
(一社) オーガニック
フォーラムジャパン 会長



S-13

ローカル&オーガニック
～生産と消費をつなぐ
パイヤーたちの使命！～

和田 真也氏
(株) ヘルスライフ
取締役部長



田中 雅大氏
(株) ヘルプ商品管理部農産
部門チーフ



松原 雄一郎氏
株式会社句楽膳
PB開発責任者、
ドライ統括責任者



来田 文香氏
(株) 風水プロジェクト
執行役員
ゆうき市場事業本部
商品市場開発事業グループ
グループ長(ちばだん統括)



S-15

自然食品専門店の「経営力向上」
ゼミナール～店主の店主による
店主のための実践例、
オーガニックビジネスへの一歩

白冰 (バイビン) 氏
FOOD&COMPANY 代表



伊原 彰康氏
アスカ有機農園 代表
(社) 京都オーガニック
アクション 理事



S-16

動物福祉・有機畜産の普及と
ビジネス展開のために～
「フードチェーンビジネスとしての
動物福祉・アニマル
ウェルフェア畜産を実現するために」

①探鳥鶏のケージフリーをめぐる
最新情報 (30分)

上原 まほ氏
AWFCJ理事 AWPC代表



②トークセッション
日本のアニマルウェルフェア
ファームingの実際
～森の京都・綾部と愛知県・
渥美半島の事例 (50分)

氏本 長一氏
AWFCJ理事 かんばんよし
自然農園グループ世話人



渡会 一仁氏
AWFCJ会員、
(株) 渥美フーズ
代表取締役・
オアシスファーム



司会進行

池嶋 丈児氏
AWFCJ理事、
Eat natural 代表





開会式登壇者

- ・ご来賓 農林水産省 近畿農政局 相本 浩志 様
- ・ご来賓/オーガニックビレッジ宣言 京丹後市長 中山 泰 様
- ・出展者代表 食団連京都 代表理事 中谷 安志 様
- ・日本オーガニック会議実行委員長/株式会社金沢大地 井村 辰二郎 様
- ・主催者 (一社) オーガニックフォーラムジャパン会長 徳江 倫明



オープニングシンポジウム



トークセッション



セミナー



キッズアワード京都



シンポジウム



シンポジウム



トークセッション



オープニングトークセッション



事例報告会



事例報告会



円卓会議



円卓会議



円卓会議

■オーガニックビレッジ連携会議

主催：（一社）オーガニックフォーラムジャパン 共催：日本オーガニック会議

17自治体+近畿農政局+東海農政局+日本オーガニック会議+オーガニックフォーラムジャパンが参加

【参加自治体】

愛知県大府市、大阪府泉大津市、岡山県、岡山県新庄村、岡山県和気町、京都府亀岡市、京都府京丹後市、島根県 浜田市、鳥取県日南市、兵庫県朝来市、兵庫県加東市、兵庫県丹波市、兵庫県養父市、宮崎県木城町、宮崎県高鍋町、奈良県宇陀市、三重県尾鷲市、兵庫県神戸市





京都の一般飲食店の団体「食団連 京都支部」の主要メンバーとのコラボ企画

“Love Eats KYOTO Green Project”

オーガニック食材をもっと気軽に楽しんでいただき、一般生活者との距離を縮める事を目的に京都市内の飲食店組合「食団連京都支部」の皆様にもオーガニック食材を使用したライブキッチンを運営していただきました。これをきっかけに、飲食店の通常営業時でも少しずつオーガニック食材を使用してもらえ、きっかけにも繋げていく取り組みです。



“伝統伝承コーナー”

古来、日本人の生活様式自体がオーガニック的であるという視点で、改めてその精神性、物や食のあり方を見直し、日本文化=オーガニックをいう事を国内外へ発信していく事を目的としたコーナーを企画。今回は陶器と日本酒・煎茶を組み合わせた展示販売を実施しました。



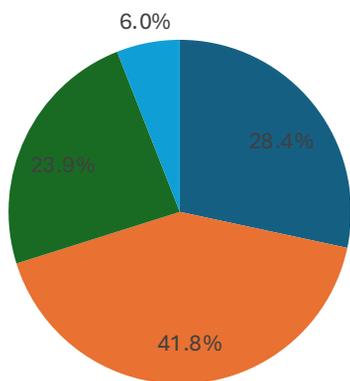
レセプション -出展者懇親会-

会場ご提供：ホテルカンラ京都 様
 料理担当：東川恵里子 氏
 調理補助：NEOベジタリアン関係者様、瀧村幸男様、
 ホテルカンラ京都シェフ

食材提供：
 亀岡市様（有機農産物）
 合同会社ハンナリCHE
 ココウェル
 山名酒造
 但馬醸造
 プレマ株式会社

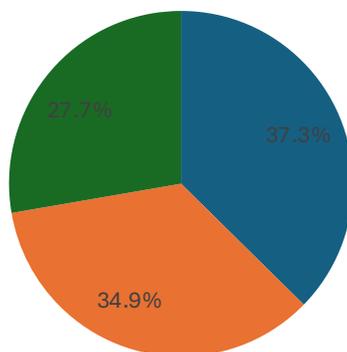


出展感想



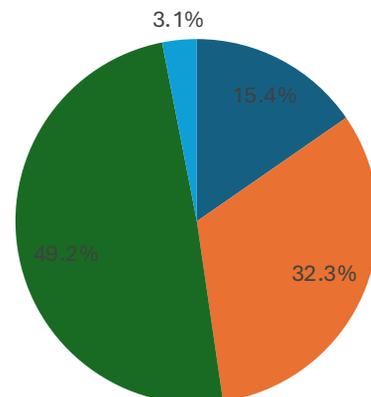
- 大変満足している
- 満足している
- まあまあ満足している
- 不満

来場者客層



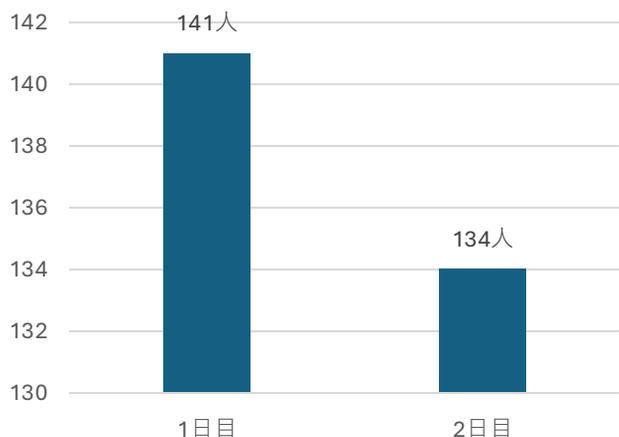
- 商談目的
- お買い物
- 情報収集

次回出展について

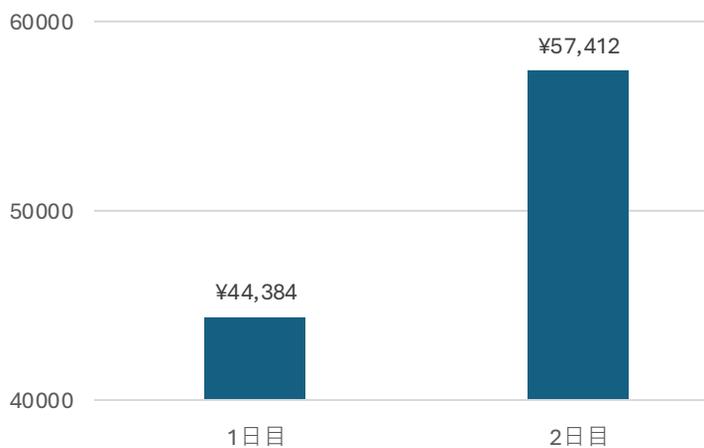


- 参加します
- 参加の方向で検討
- これから検討
- 参加しません

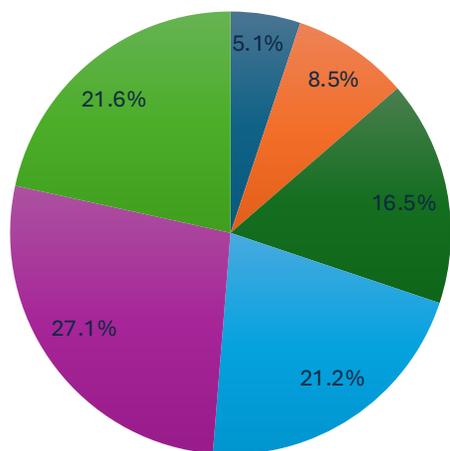
ブース平均来場者



平均売上

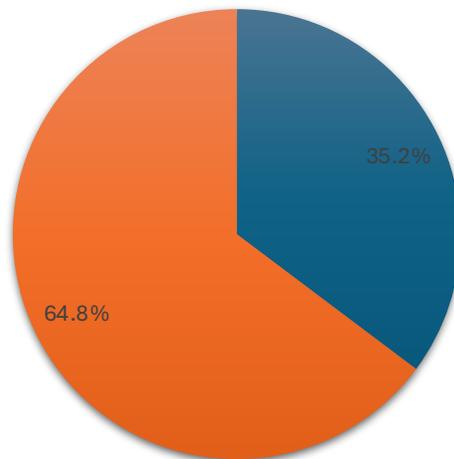


来場者年齢



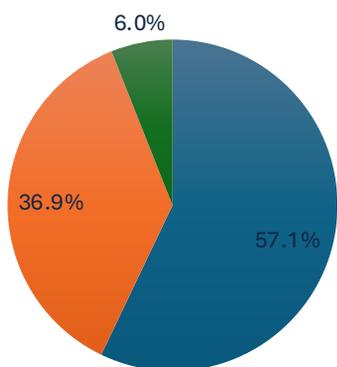
■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

来場者性別



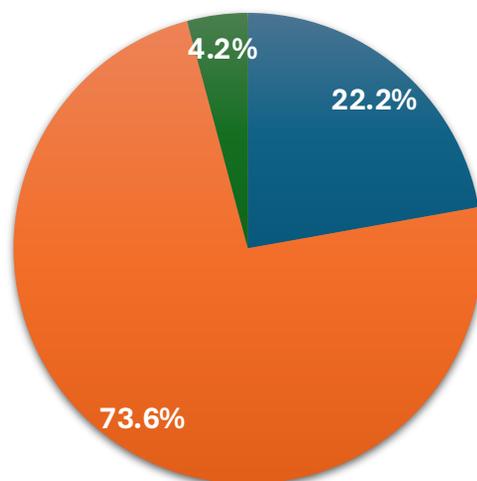
■ 男 ■ 女

開催内容



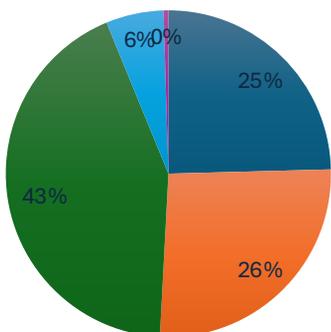
■ とても満足 ■ まあまあ満足 ■ 普通だった

来場目的



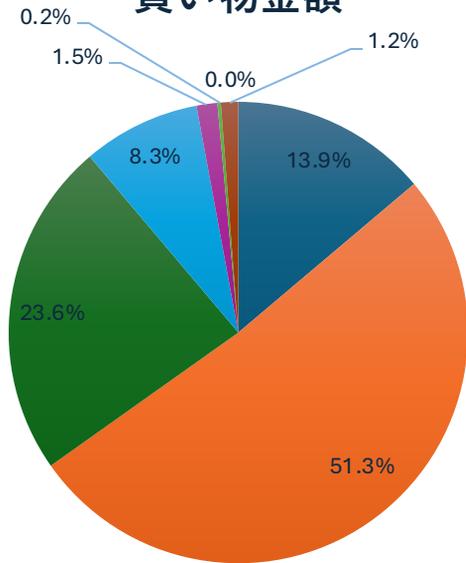
■ 商談・情報収集 ■ 個人趣味買い物 ■ 両方

家族構成



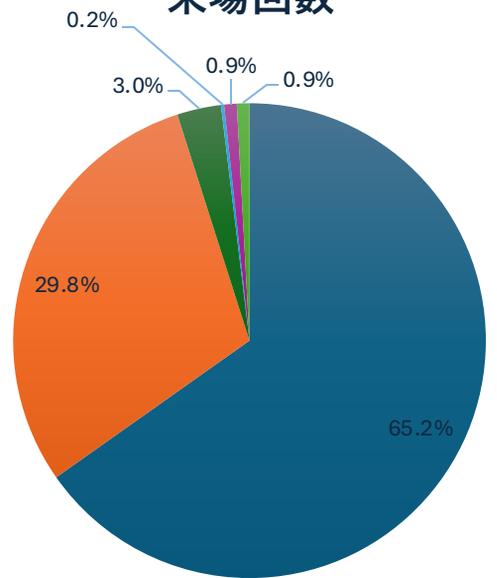
■ 独身 ■ 夫婦のみ ■ 親子1世代

買い物金額



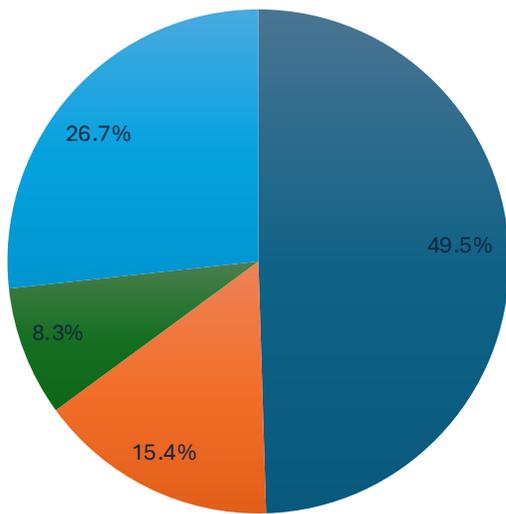
- 1000円以下
- 10000円～20000円
- 5万以上
- 1000円～5000円
- 20,000円～30,000円
- 10万以上
- 5000円～10000円
- 3万円以上

来場回数



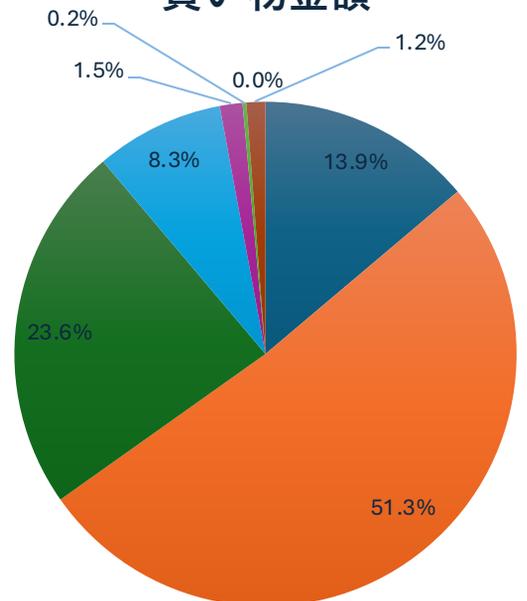
- 1回目
- 2回目
- 3回目
- 4回目
- 5回目
- 6回目以上

EXPOはどうやって知りましたか？



- 招待状
- SNS
- メルマガ
- その他

買い物金額



- 1000円以下
- 10000円～20000円
- 5万以上
- 1000円～5000円
- 20,000円～30,000円
- 10万以上
- 5000円～10000円
- 3万円以上

読売新聞 記事協力

25 読売新聞 大阪 2025年(令和7年)5月22日(木曜日) 第1版

(第三種郵便物認可)

ふるさとあしたへ 地域の恵み 実らす人々 兵庫

生産地と消費地が連携

支えつた消費地があるから、農家が安心できる。有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...

地方と都市 食でつなぐ

「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...



北摂産有機野菜(左)と大阪府産有機野菜(右)を展示する三郷町無農薬市の中山園芸学校。...

計約130ブースを出展。各地のオーガニックの商品をはじめ、コスメやファッション、雑貨などのコーナーもある。...

大阪府産有機野菜(左)と北摂産有機野菜(右)を展示する三郷町無農薬市の中山園芸学校。...

「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...

「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...

「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...

「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...

「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...



「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...

食べ物の絵 作品を募集

一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン(O F J、東京都)は「第2回キッズアワード京都〜ぼくのわたしの食べ物〜」として、3歳〜小学6年生を対象に絵画作品を募っている。...

「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...

スタイルEXPO West in 京都

「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...

「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...

食べ物の絵 作品募集 コンテスト 京都で展示へ

「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...

「産地から消費地まで、有機野菜を育て、消費地へ出荷する生産者も、自給自足の食生活を送る人も、地方の生産地と消費地の連携を促す。...

■日本農業新聞

日本農業新聞

【京都】オーガニックビジネスの普及発展を目的とした展示会「オーガニックライフスタイルEXPO（エキスポ）West」が23日、京都市勧業館（みやこめッセ）で始まった。生産者や流通業者、加工業者などの企業や団体、自治体など約130者が参加、有機の農産物や加工品、有機農業への取り組みをアピールした。

会場では、オープニングセレモニーで、京都府京丹後市の中山泰市長が府で2市目となるオーガニックビレッジを宣言。「食の豊かさや健康長寿、心の豊かな幸福長寿につながる」と訴えた。

有機農業に地域ぐるみで取り組む「オーガニックビレッジ」は、京都市はシヨースの試飲で有機栽培の甘

有機ビジネス拡大へ

京都市でエキスポ

農産物、加工品アピール



「自然とつながる」として、岡山県は独自の「おかげがる食体験プログラム」では、有機栽培を実践する生産者の畑での収穫体験や、有機野菜の特製ランチを味わう。市は「土を通して全ての命がめぐり、成り立つ康な長寿者が多い市の特徴を打ち出したヘルスツーリズムを紹介。」

ツジ自治体ゾーンには16者が参加した。京丹後市は健康な長寿者が多い市の特徴を打ち出したヘルスツーリズムを紹介。「自然とつながる」として、岡山県は独自の「おかげがる食体験プログラム」では、有機栽培を実践する生産者の畑での収穫体験や、有機野菜の特製ランチを味わう。市は「土を通して全ての命がめぐり、成り立つ康な長寿者が多い市の特徴を打ち出したヘルスツーリズムを紹介。」

ま有機無農薬農産物の認証制度で、自然の生態系を大切にする取り組みを伝えたい。認証を受けた合鴨（あいがも）農法の有機米を持参した新庄村は、地域おこし協力隊制度を活用した有機農業研修コースの人材を募集している。

三重県尾鷲市は有機栽培の甘夏「尾鷲甘夏」を売りに込んだ。うま味を凝縮したジュースの試飲で、絶妙な甘味と酸味のバランスをアピールした。

■J:COM 6月7日放送



★毎週土曜日11:00更新★ あなたの街に J:COM取材班が突撃!地域イベントやスポーツ・カルチャー、季節・旬...さらに表示



■京都新聞

経済サイトプラン記事

京都市左京区に有機栽培推進の農家や企業、自治体が集結「オーガニックライフ」PR

2025年5月23日 17:00

明石陸

保存 印刷

f X B!



有機栽培を推進する農家や企業、自治体が集う「オーガニックライフスタイルEXPO West in 京都2025」が23日、京都市左京区岡崎成勝寺町のみやこめッセで始まった。環境に配慮して生産した野菜や加工品のブースが並び

■ ORGANIC PRESS

ORGANIC PRESS

HOME TOPICS FOOD BEAUTY LIFESTYLE SHOP LOCAL WORLD BRAND RIZ DICTIONARY RECIPE PLANT BASED

【終了】「第2回オーガニックライフスタイルEXPO West in 京都 2025」 5月23日(金)・24日(土)

https://www.organicpress.jp/organicpress/2025/05/23/



Apply for Registration

オーガニックプレスへの掲載申し込みはこちら

ORGANIC RECIPE

ORGANIC & PLANT BASED

2025年5月23日(金)・24日(土)の2日間「第2回オーガニックライフスタイルEXPO West in 京都 2025」開催。会場は昨年同様、京都市勧業館みやこめッセ展示場。第1回開催の時のスペースとなる全ホールを使用している会場構成で、昨年よりさらにパワーアップ! 多種多様な展示講演や専門セミナーや、地域のオーガニックビジネスを牽引するの推進に向けた「第2回オーガニックビジネス連携会議WEST」も併せて開催を計画しています。



一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2 - 22 - 8 内外ビル七階

E-Mail info@ofj.or.jp Tel : 03 - 3523 - 0028 Fax : 03 - 3523 - 0861